



### 花火とウォータースポーツで田瀬湖の魅力を満喫

8月2日・3日の両日、田瀬ダム完成60周年記念事業「第27回田瀬湖水まつり」が開かれ、湖畔に訪れた大勢の家族連れなどが、花火大会やウォータースポーツなどを通じて楽しいひとときを過ごしました。  
まつりのメインイベントの水・空中花火大会は2日夜、清流田瀬こども太鼓の演奏でスタート。迫力満点のスターマインや湖上に開く水中花火、メッセージを添えた記念花火など、約3500発の華やかな花火が夜空と湖面を彩ると、会場から大きな歓声が上がっていました。  
東和B&G海洋センターで行われた2日のウォータースポーツフェスティバルでは、晴天の中、参加者がカヌーなどに挑戦。翌日のEポートレースでは白熱したレースを展開しました。



(上)夜空と湖面を美しく彩った水・空中花火大会。大音響が山々にこだましました  
(右)ウォータースポーツフェスティバルでカヌーに乗り、夏の田瀬湖に親しむ参加者



### 達成感味わうドミノ教室

好地まちづくり委員会が主催する「ドミノ体験教室」が7月29日、好地振興センターで開かれました。  
当日は、同委員会の役員や地元の児童など約20人が参加し、4000個のドミノ倒しに挑戦。完成直前で倒れてしまうハプニングに何度も見舞われながらも、一つ一つ慎重に並べ、クワガタやチョウ、1から9の数字などをフロアいっぱいに描きました。  
参加した上野港太さん(石鳥谷小3年)は、「すごくドキドキしたが、うまく倒れて良かった」と満足そうに話していました。



慎重にドミノを並べる参加児童。カラフルなクワガタの形を作りました

### 人形の歴史一堂に

花巻市博物館開館10周年記念企画展「人形の歴史・込められた想い」が7月26日、同館で始まりました。  
展示は、東北三大土人形に数えられる花巻人形を中心に、縄文時代の土偶や現代のソフトビニール製のアニメヒーローなど212点。それぞれの起源や役割、込められた思いを時代ごとに紹介しています。  
来場した皆さんは、人形と人との関わりや歴史に思いをはせながら、興味深く見入っていました。  
企画展は、9月28日まで開催しています。



花巻市博物館で始まった「人形の歴史」展。人形との思い出を語り合いながら鑑賞する来場者の皆さん

### ものづくりで楽しむ

夏休み工作教室が7月26日、なはんプラザで開かれました。  
この催しは市内の各種企業で組織する花巻工業クラブがものづくりに親しんでもらおうと毎年開催しているものです。市内の小学生58人がリモコンで動くシヨベルドザー作りに挑戦。指導員のアドバイスを受けながらドライバーなどの工具を使って、熱心に細かい部品を組み立てました。  
完成後、子どもたちはシヨベルドザーをキャンディーをすくって枠に入れるゲームを楽しみました。



指導員のアドバイスを受けながらシヨベルドザーを組み立てる子どもたち

### 地域の安寧願い 神楽の演舞

大迫町内川目の早池峰神社で7月31日に例大祭宵宮が、翌8月1日には例大祭が行われました。  
宵宮では、夕方から深夜まで、同神社の神楽殿で早池峰岳、大償両神楽が厳かに奉納演舞を披露。県内外から集まった大勢の観客を魅了しました。  
また翌日の例大祭では、御神体を神輿に載せて練り歩く「お通り」が雷雨のため中止になったものの、神事に引き続き早池峰両神楽やその弟子神楽などが地域の安寧を願って舞を奉納しました。



例大祭宵宮では、大勢の観客が見詰める中、早池峰神楽の演舞が繰り広げられました